

那須純郎編
輯

中等修身讀本

卷六

175
6
218

大日本教育會館藏

函一	一	一	一
架二	〇	四	八
號	六	五	冊

K110.1
108
6

明治十六年四月開雕

中等脩身讀本

敢進堂藏梓

中等脩身讀本卷之六

蘇澤南岳先生校閱 那須純一郎編

○亂世ハ。治世ニ近シ。貧賤ハ。富貴ニ近シ。

天道盈ツルヲ虧キ。缺ケタルヲ補フ。歎ク
可カラズ。正親町天皇勅

○我レニ善キ者ハ。我が敵ナリ。我レニ惡
シキ者ハ。我が師ナリ。陽光天皇勅

○世ノ人ハ他人ノ善事ハ露ホドモ。語り傳ヘルコトナクシテ。人ノ惡シキ事ハ喜ビテ。オヲモ和シテ。語ルコソ哀シケレ。後
宇多天皇勅

○我ガ神聖ノ域。忠武ヲ道トシ。君臣ノ義。猶ホ父子ノ親ノ如シ。是ヲ以テ。皇統一姓。鴻基動カズ。之ヲ萬國ニ求ムルニ。未ダ此ノ如キノ。美且正ナル者アラザルナリ。元

寇紀畧

○薛文清曰ク。余毎夜枕ニ就ク。必一日行フ所ノ事ヲ思ヒ。行フトコロ。理ニ合フトキハ。則恬然トシテ安寢ス。或ハ合ハザルコトアレバ。即展轉シテ寢ルコト能ハズ。以テ其失ヲ更ムルコトアランコトヲ思フ。又始メハ勤メ。終リニ怠ランコトヲ慮リ。因テ筆録シテ。以テ自ラ警シム。讀書錄

○多言スルノ無レ。多言スレバ。敗レ多シ。多事ナルノ無レ。多事ナレハ患ヒ多シ。至レル哉。斯ノ戒メ。能ク走ル者ハ。其翼ヲ奪ヒ。善ク飛ブ者ハ。其指ヲ減ジ。角アル者ハ。上齒ナシ。後ニ豊カナル者ハ。前足ナシ。蓋シ天道ハ。物ヲシテ兼又ルノアラシメザルナリ。古人曰ク。多ク少善ヲ為スハ。一ヲ熟スルニ如カズ。鼯鼠五能ハ。伎術ヲ成サ

ズ。顏氏家訓

○剛大ノ氣ヲ養フ者ハ。富貴ニ溺レズ。取捨ノ義ヲ明カニスル者ハ。貧賤ニ戚マズ。然ル後。以テ大事ヲ斷シ。大節ヲ立ツベシ。豈小丈夫ノ能クスル所ナラン。省心雜言
○忠信ハ。苦キニ似タリ。之ヲ味ヘバ。則理アリ。捷徑ハ。直キニ似タリ。之ヲ行ケバ。則チ道ニ背ク。忠言ハ。人ニ求ムルニ難ク。直

道ハ惟己ニ行フベシ。同上

- 一ニ曰ク志ヲ立テ卑下ス。二ニ曰ク心ヲ存シ欺妄ス。三ニ曰ク聖賢ヲ侮慢ス。四ニ曰ク師友ヲ凌忽ス。五ニ曰ク羣聚嬉戲ス。六ニ曰ク獨居安肆ス。七ニ曰ク無益ノ事ヲ作ス。八ニ曰ク無益ノ書ヲ觀ル。九ニ曰ク争ヲ好ム。十ニ曰ク恒無シ。洞學十戒
- 丈夫一生廉耻ヲ重シトス。切ニ人ニ求

ムルヲ莫レ。死生命アリ。

- 白日為ス所。夜來已レヲ省。是惡驚クベシ。是善喜フベシ。

- 人譽ムルトキ。我レ謙スレバ。又一美ヲ増シ。自ラ誇リ。自ラ敗レバ。還タ一毀ヲ増ス。

- 貴キヲ慕ヒ。貧シキヲ耻ヅレバ。志趣羣ニ落チ。奇ニ驚キ。異ナルニ駭ケバ。見識濟

ラズ。

○人ニ待スルニハ豊カナルヲ要シ。自ラ奉ズルニハ約ヤカナルヲ要ス。已レヲ責ムルハ厚キヲ要シ。人ヲ責ムルハ薄キヲ要ス。

○麟鼠象ヲ殺シ。蜈蚣龍ヲ殺ス。蟻穴隄ヲ破リ。螻孔城ヲ崩ス。

○冷眼人ヲ觀。冷耳語ヲ聽キ。冷情當ニ感

スベシ。冷心理ヲ思へ。以上續小兒語

○其外誘ヲ去リ。其真純ヲ全クスト。八字。最モ妙ナリ。童子ノ時。惟外誘最モ事ヲ壞ル。樗蒲博奕及ビ。搬演故事ヲ看ル類ノ如キハ。極ハマテ人ヲシテ。流蕩反ヲ忘レシメ易シ。朱子蒙卦注

○學ハ人タルヲ學フ所以ナリ。學ンテ聖人ニ至ルモ。亦人タルノ道ヲ盡スニ過

ガ。ル。ノ。ミ。此皆切要ノ言ナリ。

○程夫子ノ言ニ曰ク。涵養ハ。須ク敬ヲ用
フベシ。學ニ進ム。ハ。則知ヲ致スニ在リ。
此實ニ學者身ヲ立テ。歩ヲ進ムルノ要ナ
リ。又曰ク。此兩言ハ。車ノ兩輪ノ如ク。鳥ノ
兩翼ノ如シ。體用本末。該ネ備ハラサル
ナシ。

○知ト行ヒト。常ニ相須フ。目ノ足無クシ

テ行カレズ。足ノ目無クシテ。見ヘザルガ
如シ。先後ヲ論ズレバ。知ヲ先キトシ。輕重
ヲ論ズレバ。行ヒヲ重シトス。以上學的

○朱子ノ曰ク。義ハ。人心ノ裁制。道ハ。天理
ノ自然。既ニ天理ト曰フトキハ。則仁義禮
智皆道ナリ。義ハ。則人心。是道ヲ裁制シテ。
宜シキニ合ハシムルノミ。既ニ道義ト言
ヒ。下文又止ダ。集義ト言フ。盖シ。事々宜シ

キニ合フハ。即道ノ宜シキニ合フナリ。
○簡默凝重ニシテ。以テ已レテ持セヨ。
○自脩篤敬ハ。小人ヲ遠ザクル所以ニシ
テ。惡マズシテ嚴ナリ。

○一言モ。妄リニ發スベカラズ。一事モ。妄
リニ動ク可カラズ。

○日間。時々刻々。緊々。自己身心ノ上ニ於
テ。存察力ヲ用キテ。一毫モ懈怠スベカラ

ス。以上續讀書錄

○郷約當ニ遵フベシ。祠墓當ニ展スベシ。
族類當ニ辨ズベシ。名分當ニ正スベシ。宗
族當ニ睦ジクスベシ。譜牒當ニ重ンズベ
シ。閨門當ニ肅シムベシ。蒙養當ニ豫メス
ベシ。婣里當ニ厚クスベシ。職業當ニ勤ム
ベシ。賦役當ニ供スベシ。争訟當ニ止ムベ
シ。節儉當ニ崇ブベシ。守望當ニ嚴ニスベ

シ。邪巫當ニ禁ズベシ。四禮當ニ行フベシ。
齊家宝要

○古ニ曰ク。古ヘノ生ヲ養フ者ハ。深山ニ
陸行スト。雖兕虎ニ遇ハズ。軍旅ノ中ニ
入テ。兵甲ヲ被ムラズ。惟其無心ナルトキ
ハ。則物之ヲ傷ブルコト能ハズ。兕モ觸ル、
コト能ハズ。虎モ害スルコト能ハサル所以ノ
者ハ。惟其無心ナルガユエナリ。聖賢問答

○儉ト嗇ト。其迹相似テ。其心實ハ相反ス。
儉ハ善ノ基ヒ。嗇ハ欲ノ叢ラ。儉ニシテ。施
スコトヲ好ム者ハ。真ノ儉ナリ。儉ニシテ。施
スコトヲ知ラザルモ。亦嗇ノミ。古人儉ヲ務
ムル者ハ。其施サンガ為メナリ。儉ニシテ
施スコトヲ知ラザレバ。儉ト謂フベカラズ。
世ノ鄙夫。儉ニ託シテ。夫ノ奢ル者ヲ詆ル
ハ。一噓ニ付スベシ。儉ニシテ施スコトヲ好

ム者ハ。誠ノ大徳ノ人タリ。儉ニシテ施ス
コヲ知ラサル者ハ。眞ノ守錢虜童子問ノミ。
○下タルノ道ハ。其功ニ居ラズ。其章ノ美
ハシキヲ含ミ晦マシテ。以テ王事ニ從ヒ。
上ニ代ツテ。以テ其事ヲ終ヘテ。敢テ其成
功ヲ有セザルヤ。猶地道ノ天ニ代ハリ。物
ヲ終ヘテ。功ヲ成スコトハ。則天ニ主タルガ
如シ。妻ノ道モ亦然リ。二程治教錄

○家ハ。親ニ聽キ。國ハ。君ニ聽ク。古今ノ公
行ナリ。子ハ親ニ反カス。臣ハ主ニ逆ハズ。
先王ノ通誼ナリ。子道ハ。順ニシテ拂ラズ。
臣行ハ。讓リテ争ハズ。子ニシテ。私道ヲ用
ル者ハ。家必亂レ。臣ニシテ。私義ヲ用ル者
ハ。國必危シ。戰國策

○家人ハ。豫テ礼義ヲ正シクシテ。惡事ヲ
禦ギ戒ムベシ。惡事出來テ。後戒ムルハ遲

シ。礼ハ未然ヲ防グ。法ハ已然ニ戒ムト云
ヘリ。未然ハ未ダ事出来ザル前ナリ。已然
ハ已ニ事出来テ後ナリ。礼ハ譬ヘバ無病
ノ時。善ク養生スルガ如シ。病ナキ時。善ク
養生スレバ。病起ラズ。法ハ病起リテ。後藥
ヲ飲ムガ如シ。病起リテ。藥ヲ服センヨリ。
無病ノ時。養生スレバ。病ナシ。家道訓
○我身ノ飲食色欲財利ナドノ。慾ニ克ツ

ニハ假令バ。強敵ニ對シテ。我十分ノ力ヲ
盡クシテ。防ギ戰フガ如クスベシ。此ノ如
クセザレバ。私慾ニ克チ難シ。是慾ニ克ツ
良法ナリ。若シ少シニテモ。弱ゲナレバ。欲
ニ克チ難ク。終ニ慾克チテ。防ギ難シ。人欲
ハ人ノ為メ大敵ナリ。油斷スベカラス。如
何ニモシテ克ツベシ。大和俗訓
○凡ソ書ヲ授ク。徒ラニ多キニアラス。但

中庸修身讀本 卷之六

精熟ヲ貴ビ。其資稟ヲ量リ。二百字ヲ能ク
スル者ハ。止ダ一百字ヲ受クベシ。常ニ精
神力量ヲシテ。餘アラシメハ。則厭苦ノ患
ヒナシ。而シテ自得ノ美アリ。諷誦ノ際務
メテ心ヲ專ラニシ。志ヲ一ニシ口ニ誦シ。
心ニ雜ギ。字々句々。細繹反復。其音節ヲ抑
揚シ。其心意ヲ寛虚ニスベシ。久シケレバ
則義禮浹洽シ。聰明日ニ開クベシ。訓蒙教
約

○今ノ世ニ生レテ。時メク方ニモナク貧
シキ富マシキニモ。深マズ待ツコトナク
テアカシ暮ス者ハ君子ナルベシ。上ニ道
アリテ下ニ求メバ。必此人有ルベシ。求ム
ルニ品アリ。時メク人富マシキ人貴キ人。
此三人ヲトラス。邊鄙ノ人。スム方ニアラ
ヌウチニ。浮世ノ濁リヲスマシテ有ルベ
シ。上ノ光ニ照ラサレテ出ツベケレバ求

ムコハコナタノ心ニアルベシ。満子
○書ヲ讀マバ。我身ニ受用スル事ヲ專一
ニ志スベシ。受用トハ。書ニ記セル聖人ノ
教ヲ。我身ニ受ケ用ヒテ。守リ行ヒ。用ニ立
ツルヲ云フ。若シ書ヲ讀ミ。義理ヲキ、テ
モ身ニ受ケ用ヒズシテ。行ナハサレバ。何
ノ益モナキ。イタツフ事ナリ。大學ヲ讀テ。
惡臭ヲ惡ムガ如ク。好色ヲ好ムガ如クス

トアルヲ見テハ。我ガ心ニ。是ヲ受ケ用ヒ
テ。實ニ惡ヲ嫌フ。惡臭ノ如ク。善ヲ好ム
事。好色ノ如クスベシ。論語ヲ讀テ。父母ニ
事ヘテ。能ク其力ヲ盡シ。君ニ事ヘテ。能ク
其身ヲ委スルトアルヲ見テハ。其如ク。親
ニ事ヘテ。我身ノ力モ。財ノ力モ。惜マズシ
テ。孝ヲ盡スベシ。臣トシテハ。吾身ヲ。我物
ニセズシテ。私ヲ忘レ。事テ。君ニ忠ヲ盡ス

中庸修身讀本 卷之六

ベシ。自餘モ皆此ノ如スベシ。是ヲ書ヲ讀
テ。受用スルト云。若シ書ヲ多ク讀テモ。
受用セザレバ。口耳ノ學ト云ヒテ。耳ニ聞
キテ。頓テ口ニ言タルマデニテ。心ニ守リ。
身ニ行ナハサルハ。無用ノ學ナリ。大和俗訓
○心ハ。猶首面ノ如キナリ。是ヲ以テ。甚ダ
飾リヲ致ス。面一旦修メザレバ。則塵垢之
ヲ穢シ。心一朝善ヲ思ハザレバ。則邪惡之

ニ入ル。咸其面ヲ飾ルコトヲ知リ。其心ヲ修
メザルハ。惑ヘルナリ。夫面ノ飾ラザルハ。
愚者之ヲ醜ト謂ヒ。心ノ修メザル賢者之
ヲ惡ト謂ハシ。將タ何ヲカ容レン故ニ鏡
ヲ攬リ。面ヲ拭ハシ。則其心ノ潔キヨカラ
ンコトヲ思ヒ。粉ヲ傳セバ。則其心ノ和セン
コトヲ思ヒ。粉ヲ加フレバ。則其心ノ鮮ヤカ
ナランコトヲ思ヒ。髮ヲ澤ホセバ。則其心ノ

潤ホハムヲ思ヒ。櫛ヲ用フレバ。則其心ノ。理サマランヲ思ヒ。髻ヲ立ツレバ。則其心ノ。正シカラシムヲ思ヒ。髮ヲ攝メバ。則其心ノ。整ハシムヲ思フベシ。

朱子曰ク。卷ヲ開イテ。便チ。聖賢ト相似ガル處アレバ。豈自ラ。鞭策セサル可ケンヤ。

○已レニ克ツトハ。固ニ是學者ノ急務ナ

リ亦須ク。一切ノ道理ヲ見得ルヲ。了々分明ニシテ。方ニ日用ノ間。一言一動。何ニ者カ。是正。何ニ者カ。是邪ナルヲ見テ。便此處ニ於テ。脚跟ヲ立テ定メ。凡是已私ニシテ。是天理ナラサル者ハ。便チ。克チ將ツテ去ルベシ。

○已レニ克ツト。亦別ニ巧ミナル法ナシ。譬ヘバ。孤軍ノ猝カニ。強敵ニ遇フガ如シ。

只是カヲ盡シ。死ヲ舍テ、前ニ向ハンノ
ミ。以上學的

○凡家長ト為リテハ。必禮法ヲ謹守シ。以
テ羣子弟。及ヒ家衆ヲ御シ。之ニ分ツニ職
ヲ以テシ。之ニ授クルニ事ヲ以テシ。而シ
テ其成功ヲ責メ。財用ノ節ヲ制シ。入ルヲ
量リ。以テ出ス。コヲ為シ。家ノ有無ニ稱フ
テ。以テ上下ノ衣食。及ビ吉凶ノ費ニ給ス。

皆品節有リテ。而シテ均一ナラサルコトナ
シ。冗費ヲ裁省シ。奢華ヲ禁止ス。嘗テ須ク
稍ヤ贏餘ヲ存シテ。以テ不虞ニ備フベシ。
齊家寶要

○人ヲ敬ヒ。人ニ親ムニ。人我レニ對シテ。
敬ハズバ。已レニ反リ求メテ。未ダ我レノ
敬ト。親ト。足ラサルヲ知リテ。人ヲ咎メ
ズシテ。務ムベシ。神明ニ事アリテ。祈り求

ムルニ。感應ナクバ。已レノ誠ノ薄キヲ知
リテ。神ヲ恨ムルヲ勿レ。故ニ萬ノ事ハ皆
已レニ在リテ。外ニアラズ。然ラバ。何ンゾ
外ヲ尤メンヤ。愚ナル者ハ。已レノ務メノ
足ラサルヲ。外ニ求ムル故ニ。身ヲ終ハル
マテ。思ヒ亂レテ。苦シメリ。源俊量
○子曰ク。士ハ道ニ志シテ。惡衣惡食ヲ耻
ル者ハ。未ダ與ニ議ルニ足ラズ。

○孟子曰ク。耻ノ人ニ於ルヤ。大ヒナリ。機變
ノ巧ミヲ為ス者ハ。耻ヲ用フル所ナシ。
○禮ニ曰ク。聲問情ニ過ギタルハ。君子ハ
之ヲ耻ツ。

○君子ハ。其言ヲ耻テ。其行ヲ過ゴス。以上
聖賢問答

○天下共ニ通行スル所之ヲ達道ト謂フ。
君臣。父子。夫婦。昆弟。朋友ノ倫是ノミ。天下

共ニ尊ブ所之ヲ達徳ト謂フ。仁義禮智是
ノミ。此レ天下ノ同ジク。然ル所ニシテ。人
心ニ根ガシ。風俗ニ存シテ。萬世磨滅スル
コトヲ得ス。此レ之ヲ本然ノ徳ト謂フ。童子
○人ノ至親ハ。父子兄弟ヨリ。過ギタルハ
ナシ。而シテ。父子兄弟和セザル者アルハ。
父子或ハ善ヲ責ムルニ因ル。兄弟或ハ財
ヲ争フニ因ル。善ヲ責メ。財ヲ争フニ因ラ

ズシテ。和セザル者アリ。世人其和セザル
ヲ見テ。或ハ其中ニ就キ。是非ヲ分別シテ。
其由ヲ明カニスルコトナシ。蓋シ人ノ性。或
ハ寛緩。或ハ褊急。或ハ剛強。或ハ柔懦。或ハ
間靜ヲ喜ビ。或ハ紛拏ヲ喜ビ。或ハ見ル所
ノ者小。或ハ見ル所ノ者大。稟クル所自ラ
同ジカラズ。父必。子ノ性ヲシテ。已レニ合セ
ンコトヲ欲スルモ。子ノ性。未ダ必シモ。然

ラス。兄必弟ノ性ヲシテ已レニ合セント
欲スルモ。弟ノ性未ダ必シモ然ラス。其
性得テ合スベカラサルバ。則其言行亦得
テ合スベカラズ。此父子兄弟不和ノ根源
ナリ。況ンヤ事ニ臨ムノ際。一ハ以テ是ト
シ。一ハ以テ非トシ。一ハ以テ先キニスベ
シトシ。一ハ以テ後ニスベシトシ。一ハ以
テ急ニスベシトシ。一ハ以テ緩ニスベシ

トス。其齊シカラサルコト。此ノ如シ。若シ互
ニ已レニ同ジカラシコトヲノミ欲スレバ。
必爭論スルニ至リ。爭論勝タズ。再三ニ至
リ。十數ニ至レバ。則不和ノ情。此ヨリシテ
成キ。或ハ終身歡ヲ失フニ至ラン。若シ悉
ク此理ヲ悟ラバ。父兄タル者ハ。情ヲ子弟
ニ通ジテ。子弟ノ已レニ同ジカラシコトヲ
責メズ。子弟タル者ハ。仰ヒテ父兄ニ承ケ

テ。父兄惟已レニ。之レ聽クコトヲ望マザレバ。則事ヲ處スルノ際。必相和協シ。乖争ノ患ヒナシ。表氏世範

○人ノ君タラン者ハ。萬民ノ恨ヲ受ケサルヲ第一トシ。人ノ臣トシテハ。科ヲ君ニ受ケザルヲ第一トシ。人ノ子トシテハ。父母ノ心ニ背カズ。善道ヲス、ムルヲ第一トシ。友ニハ。偽リナカラヌヲ第一トシ。夫

婦ハ。和合ハ第一トス。今世ノ書ヲ讀ム者。口ニハ。君臣父子兄弟ノ五倫ノ道ヲ説クト雖。身ニ行フコト無キハ。元來能ク人倫ノ道ヲ辨マヘザルユエナルベシ。後茶良天皇勅

中等修身讀本卷之六終

明治十六年一月廿三日
全 年 二 月

同年五月三十日製本改式御届

出版権免許
代價六圓五厘

編輯人

兵庫縣士族

那須純一郎

當時大坂府南區順慶町二丁目
九番地寄留

出版人

大坂府平民

湯上市兵衛

大坂府南區順慶町三丁目
六十番地



弘通

書肆

大坂心齋橋二丁目
大坂北久太郎町
大坂 順慶町
西京二條堀川
東京 桶町
大坂北濱二丁目
熊本下通町

松原村 文海堂
柳原積玉圃
那須探海堂
井上治兵衛堂
東東 崖 兵衛堂
東東 崖 兵衛堂
細東 流 舍